

## 〈報道発表資料〉

教育総務部 文化財保護課

担当 課長 高山

直通 048-997-6666

E-mail:bunkazai@city.yashio.lg.jp



## 第48回企画展「日々を装う」

1月21日（土）から3月12日（日）まで、八潮市立資料館において、第48回企画展「日々を装う」を開催します。

### 1 開催の目的

私たちの生活様式が少しずつ移ろっていくなかでも、衣服を着るという行為は昔から変わらない営みです。人びとがいつどのように装い、また装いをつくってきたのか、その服飾文化を見つめ直すことを目的として、本展覧会を開催します。

### 2 内容

明治期に和服から洋服へ移り変わる装いの変化や、晴れ着や仕事着などの場面ごとの装いと衣服の管理について、また養蚕業や染色業など装いをつくる産業などに着目して、その服飾文化を関連資料とともに紹介します。

### 3 関連事業

#### (1) 担当職員による展示解説

第1回 1月28日（土） 午後2時～3時

第2回 3月5日（日） 午後2時～3時

#### (2) 体験講座「藍染め（型染め）」

2月25日（土） 午前11時～午後2時30分

定員 20人

申込 2月14日（火）から、窓口または電話で資料館へ

#### (3) 体験コーナー

- ・野良着・浴衣試着体験
- ・着物デザイン体験
- ・柄見本・型紙投票

#### **4 見解**

本展覧会では民具資料、なかでも服飾に関する資料を多く展示し、視覚的にも楽しめる展示を試みました。資料整理を経て初めて公開する資料もあります。また実際に手でふれていただける展示など、来館者が参加・体感できるコーナーも設けています。生活に身近な装いについて、体感しながら改めて振り返る機会となれば幸いです。

#### **5 添付資料**

第48回企画展「日々を装う」チラシ

第48回企画展

# 日々を装う



令和5年 **1月21日(土)** ▶ **3月12日(日)**

**開館時間** 9時～17時(古民家は15時45分まで)

**休館日** 月曜日・2月24日(金)

**入館料** 無料

八潮市立資料館

左から: 型紙・陸軍制服(礼服)・羽二重の半幅帯・注染納見本、背景: 型紙(資料画像全て当館蔵)

# ◆◆ 展示概要 ◆◆

## プロローグ 近世までの装い

今日身近な和装である着物は、小袖がその原形となっています。平安時代以来の装束である大袖形式の装いと比較しながら、幕末頃までの装いの変遷を概観します。



陸軍制服  
(礼服)

## 第一章 移り変わる装い

明治時代以降に洋装化が進み、人びとの装いには多様な広がりをもたらされることとなりました。その過程においては、男女や階級による違いがみられたほか、戦争といった当時の社会状況も装いに影響を与えました。

## 第二章 装う場面

野良仕事をするとき、人生の節目の儀礼のとき、祭りのとき、人びとは場面に応じて様々な装いをします。その装いは購入するだけではなく自ら作り、繕ったり仕立て直したりして、長く大切に着続けていました。



野良着



浴衣

## 第三章 装いを彩る

着物を着る人がいれば、それを作る人がいます。八潮市域では明治時代に蚕業講習所が設立され、養蚕業の一端を担いました。また、長板中型や注染といった染色業も盛んで、人びとの装いを彩りました。

## エピローグ 装いを鑑賞する

装いの楽しみは、自らが装うことに限ったものではありません。ときには小さな人形等の装いの色や柄、文様を楽しむこともあります。ここでは人形やミニ着物などを古民家にて紹介します。

# ◆◆ 関連イベント ◆◆

### ●担当職員による展示解説(全2回)

令和5年1月28日(土)、3月5日(日) 14時～15時

### ●体験講座「藍染め(型染め)」 ※要申込

令和5年2月25日(土) 11時～14時30分

定員: 20名 申込受付: 2月14日(火)～

### ●体験コーナー

- ・野良着・浴衣試着体験
- ・着物デザイン体験
- ・柄見本・型紙投票



柄見本

## 八潮市立資料館

〒340-0831 埼玉県八潮市大字南後谷 763 番地 50  
TEL: 048-997-6666 FAX: 048-997-8998

東武スカイツリーライン草加駅東口より徒歩25分またはバスで手代橋バス停下車徒歩5分  
つくばエクスプレス八潮駅北口よりバスで後谷住宅前または南後谷バス停下車徒歩3分  
新型コロナウイルスの感染拡大状況により、イベント等の日程、内容を変更する場合がございます。



↑ 詳しくはHPへ